

(様式第4号)

上田市総合計画審議会（第1回教育文化部会） 会議概要

| | |
|-------------|---|
| 1 審議会名 | 上田市総合計画審議会（第1回教育文化部会） |
| 2 日時 | 令和元年10月3日 午後3時27分から午後4時51分まで |
| 3 会場 | 市役所東庁舎 2階 第3会議室 |
| 4 出席者 | 中澤武部会長、聲山永子副部会長、荒川玲子委員、坂口純一委員、城下敦子委員、滝沢博俊委員、竹田貴一委員、中澤照夫委員、原有紀委員、間島博徳委員 |
| 5 市側出席者 | 中澤教育次長、石井教育総務課長、鎌原政策企画課長、小林交流文化スポーツ課長、久保田交流文化芸術センター副館長、清水市立美術館長、大平移住交流推進課長、翠川教育施設整備室長、緑川学校教育課長、竜野生涯学習・文化財課長、西嶋生涯学習・文化財課人権同和教育政策幹、小泉中央公民館長、清水上田図書館長、池田スポーツ推進課長、西澤教育総務課企画担当係長、宮原政策企画課政策調整担当係長 |
| 6 公開・非公開 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開 |
| 7 傍聴者 | 0人 記者 0人 |
| 8 会議概要作成年月日 | 令和元年10月9日 |

協 議 事 項 等

| |
|--|
| 1 開 会（石井教育総務課長） |
| 2 あいさつ（峯村教育長、中澤教育次長） |
| 3 委員自己紹介 |
| 4 市側出席者自己紹介 |
| 5 正副部会長選出 部会長：中澤武委員 副部会長：聲山永子委員 |
| 6 正副部会長あいさつ |
| 7 議事 (1) 部会の検討範囲について (事務局) 全体会資料1、冊子「第二次上田市総合計画」（第5編、第6編）に基づき説明 (部会長) 全体のイメージとして、これから審議していくことを具体的に説明いただきたい。 (事務局) 基本的には「前期まちづくり計画」の部分を検証していただくということで、分野ごとに、既に終わっているものや情勢の変化により、記載されている内容が今の時代に合わないようなこともあるので、それらの部分について、後期の計画を審議いただくイメージで考えている。 (部会長) 基本的には、現状を共有し、ブラッシュアップしていくべきものがあれば、具体的な施策や方向性について協議することとし、次回以降の準備をお願いしたい。 (2) スケジュールについて (事務局) 全体会資料4に基づき説明 第2回の部会は、次回の全体会が開催される11月5日（火）の会議終了後、本日と同じような形で開催したいと考えている。また、第3回は、全体会は開催せず、部会単独での開催となるが、12月17日（火）の午後1時30分から開催としたい。 (全委員) 了承 |

(3) 分野別意見聴取について

(事務局) 全体会資料5に基づき説明

意見を聞きたい分野、団体等について意見、希望等があればお願いしたい。

※前回意見聴取した団体：上田市子ども会育成連絡協議会、

塩田地域学校支援地域本部運営協議会「しおだっ子応援団」

次回の部会でも改めてお聞きする。

(委員) 「多文化共生推進協会」(略称：AMU)はいかがか。上田市における多文化共生社会を目指して日々努力しているという話を伺っているので、参考までにそのような団体があることを申し上げておきたい。

(委員) 美術教育で、「表現の自由さ」など、表現活動に関して思い当たる団体はある。

(部会長) ぜひ次回、ご推薦いただければと思う。

(4) その他

(委員) 具体的に次回、どのような進め方をするのか。効率よく進めるには、現状についての資料を事前にいただき、それを各自消化した上で臨まなければ議論ができないと思う。

(事務局) 進め方については、事務局であらかじめ「たたき台」のような案をお示しする。その案について、各担当課から説明し、ご意見をいただきながらまとめていきたいと考えている。

(委員) 現状把握の資料も付けていただけるということでしょうか。

(事務局) 分量が非常に多いため、最低限の範囲で必要に応じて資料を出しながら、審議いただくことになる。

(部会長) 審議の手順というものはあるのか。

(事務局) 冊子の中で、一つの大きな「節」の塊について、現状と課題や目標値、施策の方向性・展開などをまとめ、確認をいただきながらご意見いただくという形で進めていきたいと考えている。

(部会長) まとめていただいた資料は、会議の事前に送っていただきたい。

(事務局) できるだけ早めにお送りして、確認いただける時間を取れるようにしたいと思う。

(委員) 「たたき台」を作るということは、とても重要だと思うので、慎重に作っていただきたい。教育文化部会だけでも、もっと回数を増やしてでもいいのではというくらいにボリュームがあるので大変かと思うが、最上位計画を作る作業なので、よろしくお願ひしたい。

(委員) 様々な立場から委員の方が集まっておられるので、教育に対して皆さんがどういうことを思っているのか、素直な声を聞いてみたいという思いはある。

(委員) 教育の分野は量がとても多いが、6編の文化遺産とか、サントミュージゼのことなどについて、有意義なお話をいただける方がいれば、お聞きしたいと思う。

(委員) サントミュージゼも常設展のコーナー等で無料にするなどの企画をすることで、市民の方の来場も増えるのではないか。また、市内の著名な方の彫刻も相当数あるが、あまり紹介されていないため、その掘り起こしもお願ひしたい。

(部会長) 総合計画の冊子の115ページの「地域の歴史的・歴史的な遺産」の「継承」や「活用」などに関係することかと思う。「前期」の施策の中で、どのような掘り起こしや、継承への施策をしたら良いかということが、一つの大事な論点になるかと思う。

(委員) 文化遺産で、いろいろな場所に石碑とか銅像がたくさんあるが、分かりやすい表示が必要かと思う。

(部会長) 総合計画の冊子にある「VR上田城」などは、石碑や銅像などの現代版なのかもしれない。

(部会長) 第5編、第6編全体にわたって、次回の会議に向けて、事務局の皆さんには論点を絞って、現状と課題をピックアップしていただき、そこから話題を広げていただくというようにしたら良いのではないかと思います。

(事務局) 教育分野は非常に幅が広く、また、いろいろな考え方がるので、これをまとめていくのはとても大変なことだと思っている。ただ単に、事務局が出した資料を追認していただくような形ではあまり意味がないので、いろいろな意見を聞きながら進めていきたいと考えている。まずは、この冊子がベースとなるので、一度目を通していただき、次回以降に多くのご意見をいただければと思う。

(副部長) 総合計画の「まちづくりビジョン」が10年間、前期の「まちづくり計画」が5年間と記載されているが、これから後期の5年間の計画を作るにあたって、10年間の「まちづくりビジョン」はこのままベースとし、後期分としてここで検討したものを新たに作るということではよいか。

(事務局) 「後期まちづくり計画」については、全く新しいものを作るということではなく、あくまで「前期まちづくり計画」をベースとし、いろいろなご意見を伺いながらまとめていくというイメージになる。

8 事務連絡

次回の日程の確認

9 閉 会